

# なぎそ 議会だより

広報  
議会だより  
公民館報

令和4年 第3回臨時会 / 6月定例会・全員協議会



J R 東海による現地説明



大鹿村旧荒川荘の発生土置き場。  
補強土壁は高さ最大約15m



豊丘村本山の谷を埋める発生土置き場。  
頂上付近の林道から

### 議会の眼：

6月12日、リニア対策協議会委員と南木曾町議会議員による、大鹿村・豊丘村の発生土置き場視察を行いました。  
(関連記事26P)

## 第3回臨時会

第3回臨時会は、5月11日の1日間の会期で開かれました。

★第3回臨時会可決議案一覧 … 17 P

☆全員協議会 … 27 P

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

●町道十二兼線改良工事・踏切改良工事

●国道256号水道管布設工事及び  
リニア工事に係る簡易水道予備的措置

## 6月定例会

6月定例会は、6月8日から6月14日の7日間の会期で開かれました。

★6月定例会可決議案一覧 … 17 P

☆請願・陳情 … 17 P

☆令和4年6月補正予算 … 18 P

★一般質問…8人の議員が質問 … 21 P

☆委員会報告 … 26 P

☆全員協議会 … 27 P

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

●国道19号三石油前の町有地危険木伐採整備

## シリーズ「聞いて私の思い」… 30 P

田立地域振興協議会会長 高橋 徳さん

## 令和4年 第3回臨時会（5月） 可決議案一覧

一般議案		賛否
●令和3年度町道大原線道路改良工事請負契約の締結について	・契約の方法：指名競争入札 ・契約金額：6,050万円（税込） ・契約の相手方：有限会社源次商店	全員賛成
専決処分事項の承認・報告		賛否
●令和3年度南木曾町国民健康保険特別会計補正予算（第6号）	・歳出の保険給付費について支払いに不足する分を増額し、あわせて歳入で同額を県支出金として増額補正するものです。	全員賛成
●南木曾町税条例の一部を改正する条例について	・地方税法等の一部を改正する法律等が令和4年3月31日に公布されたことに伴い、条例の一部改正するものです。	全員賛成
●南木曾町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	・地方税法等の一部を改正する法律等が令和4年3月31日に公布されたことに伴い、課税限度額の引き上げなどを行うものです。	全員賛成
同意案件		賛否
●固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	・遠山 義信（新任）：南木曾町読書	全員賛成

## 令和4年 6月定例会 可決議案一覧

予算関連議案		賛否
●令和4年度 補正予算	・一般会計の補正は1億1,200万4千円増額し、総額40億2,800万4千円となります。	審議内容掲載P18 全員賛成
同意案件		賛否
●教育長の任命につき同意を求めることについて	・向井 庄司（新任）：南木曾町読書	全員賛成
条例議案		賛否
●南木曾町税条例等の一部改正について	・地方税法等の一部を改正する法律等が令和4年3月31日に公布されたことに伴い、規定の整備などを行うものです。	全員賛成
●南木曾町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	・消防団における年額報酬の支給方法を新たに記載するものです。	全員賛成
●南木曾町新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の制定について	・町内の中小企業等が金融機関から新型コロナウイルス感染症に対応した融資制度により資金を借り入れた際の利子補給金に係る財政負担を減らすことを目的に、新たに基金を創設するものです。	全員賛成

請願・陳情

●女性トイレの維持及びその安心安全の確保についての陳情書

提出者

女性スペースを守る会

―LGBT法案における「性自認」に対し慎重な議論を求める会―

共同代表 飯野 香里 外3名

結果

趣旨採択

趣旨 労働安全衛生規則や事務所衛生基準規則における事業所トイレの「男性用と女性用に区別して設けること」について、これをくすさないよう厚生労働省に申し入れることや、公衆便所等の不特定多数が使うトイレについて、女性トイレの維持や女性の安心安全という権利法益を守るための諸方策をとるよう国に要望するものです。

●沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

提出者

辺野古を止める！全国基地引き取り緊急連絡会

代表者 福本 圭介

結果

継続審議

趣旨 沖縄を「捨て石」にした差別的な安全保障政策をやめることや、辺野古新基地建設を断念すること、普天間基地を本土に引き取り、日本全体で問題解決することを国および国会に要望するものです。

# 補正予算審議概要

令和4年6月補正予算（一般会計、特別会計、事業会計）が審議され、全会一致で可決されました。  
補正予算概要を次ページの表に示し、審議の主な質疑を掲載します。

## 総務・企画関係

●旧田立電機の建物は蘭の田立電機が使用していた建物について、今後活用する計画などはあるのか。

●現在（A）は町の建物になっているため、状況を確認し撤去を考えたと思います。その後の活用については、町営住宅の跡地も含め検討していきます。



蘭地区・旧田立電機の現況

●アルコール検知器の導入

●アルコール検知器の導入とは何か。

●道路交通法施行規則の一部が4月より改正となり、10月から事業規模に応じて運転者に対し酒気帯びの有無について目視などで確認することになりました。そのため、検知器を役場本庁と教育委員会の2か所に設置し、毎朝検査を行い記録化します。

●倒木被害への対応

●先日（Q）も与川で倒木があり各種のケーブルに影響が出た。復旧費の町負担はどうなるか。

●被害を受けたものが主に中部電力であれば復旧も中部電力で行うなど、原則として各

電線の事業者が負担します。

ただし、大雨災害など様々な状況により、いち早く住民生活の復旧を行うため、町が電線に影響している倒木処理をする場合もあります。

●ナラ枯れなど倒木しやすい木が多くなっている。危険木は地域からの情報も積極的に集め、被害にならないよう対応してもらいたい。

●協力隊員の募集状況  
●今年度は3名の地域おこし協力隊員が入ったが、募集状況や採用経緯は。

●募集は前年秋に行い、町の特産品開発や空き家利活用の関係で応募がありました。一次・二次試験を経て、3名の採用となりました。

●もっと町に興味を持ってもらい、多くの応募となると良い。

## 住民課関係

●あすなる荘の施設改修

●社会福祉一般経費で、あすなる荘施設改修負担金の内容は。

●あすなる荘の水道受水槽に塩素を投入する機械の取り替えです。工事は松塩筑木曾老人福祉施設組合で行いますが、町のデイサービスセンターも受水槽の水を使用しているため、工事費の2分の1を負担します。

## 産業観光関係

●お茶の生産と支援  
●今年の生葉の品質や生産量は。

●昨年の12・5tに比べ、今年は降霜の被害もなく一昨年と同様の13・0tの生産量です。

●今年のお茶加工は工場の操業が終了しているが、燃料等高騰対策補助の対象となるのか。

●農家への生葉加工料はこれから算出するため、燃料高騰による加工料の増額分について支援します。



田立地区のお茶工場

万円で。発電所施設を維持するための基金残高は現在約280万円で、ほぼ計画どおりの積立となっています。

●サルの状態調査はサル対策で生熊調査のために発信器をつけているが、昨年からの町保有の発信器が使用できない状態だ。今年度は用意できるのか。

●購入したものはバッテリーが古くなっており、使用出来ない状態のものがありました。現在3台を修理に出しているところです。

●発信器の取り付けは、信州大学や地域振興局などと連携して行っている。群れの状況調査など、獣害対策を総合的に行えるよう町の対応をお願いする。

●小水力発電事業  
●細の洞の小水力発電における事業調整の内容は。  
●小水力活用促進事業の基金積立を54万円減額して施設修繕に組み替え、地元負担分6万円と併せて小学校下の水路改修の不足分60万円を追加するもので、当初の修繕予算40万円との合計は100

● 桃介橋河川公園の災害復旧状況

Q 桃介橋河川公園の災害復旧の状況は。

A 池に溜まった土砂などを使って災害で掘られた箇所を埋め、その上に外部から土を入れて固めています。この状態で一旦様子を見て、公園化の検討をしていきたいと思っています。

● 要望 今後は災害に強い護岸計画などもお願いしたい。

建設環境関係

● 道路などの維持

Q 道路維持補修における調査委託の内容は。

A 令和5年度舗装事業予定の道路についてFWD（舗装構造評価装置）により調査を行うもので、場所は田立の町道荒神線です。

Q 橋梁維持の見直し内容は。

A 田立地区の宮ノ沢橋・井戸沢橋・田立駅跨線橋など、国の補助

金について再申請する中で、測量設計費80万円、工事費100万円を増額するものです。

● 工事中看板の工夫を

Q 妻籠―馬籠間など、あちこちで災害復旧工事を行っており、通常の中山道が通れない。案内が不十分なので、そのため不安な道になっている。観光客に対する配慮のあるメッセージの看板も必要ではないのか。

A 看板自体が迂回路などの指示を出してあるだけの単純なものになっているため、今後歩行者に迷惑をかけるようなものを検討したいと思います。

● 要望 男滝の写真付き看板について、写真の場所は地元の人しか分からないのでは。観光客に向けた看板の設置を望む。

● 浄化槽設置整備状況

Q 浄化槽設置整備の



妻籠地区の工事中看板

事業費が追加されているが、順調に進んでいるということか。

A 当初は5人槽2基、7人槽1基を予定していましたが、新たに10人槽1基の希望があり、その分を追加したものです。

● 要望 引き続き浄化槽設置の推進を求める。

● エコバッグ配布

● 要望 エコバッグ配布事業は使用してもらうことで有効な事業になる。誰もが使える良いデザインを求める。

● ごみの収集

Q 町の段ボール収集は縛らないと収集されないが、住民からは縛るのが大変な作業だとの声もある。箱に詰めた場合は収集出来ないのか。

A 現状は縛って出すことになっていますが、箱に詰めて出すことが可能かどうか収集業者と協議したいと思います。

● 河川整備の際、木の伐採後に出てきた生活ごみなどの廃棄物についてはどうに対応しているのか。

A こうしたごみについては特に対策を取っていません。工業者に回収してもらい、町・県が処分するといった方法が取れるかどうか、県と協議・検討していきたいと思っています。



令和4年6月補正予算 (6/14決)  
一般会計補正予算 1億1,200万4千円を増額  
総額 40億2,800万4千円に

● 一般会計・特別会計補正予算 (単位:千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計 (第1号)	112,004	4,028,004
国民健康保険特別会計 (第1号)	55	301,335

● 事業会計補正予算 (単位:千円)

会 計	補正額	補正後の金額
簡易水道事業会計 (第1号)		
収益的収入	425	135,175
収益的支出	2,483	140,169
資本的収入	△ 4,482	575,539
資本的支出	△ 6,540	634,861
特定環境保全公共下水道事業会計 (第1号)		
収益的収入	456	72,613
収益的支出	456	50,456
農業集落排水事業会計 (第1号)		
収益的収入	1,567	97,123
収益的支出	1,567	60,134
浄化槽市町村整備推進事業会計 (第1号)		
収益的収入	914	130,663
収益的支出	914	124,629

教育関係

**● 学校給食費への補助**  
**Q** 小中学校の給食費補助は、物価高騰分などの補填だ。5月臨時会で恒常的に補助を行いたいとの考え方を示されているが。

**A** 町では1食あたり60円、年間200食で1万2千円の助成を行っています。令和5年度以降の継続についても検討したいと思います。

**● 要望 給食費の公会計化や無償化の方向などで、負担を減らしていくよう要望する。**

**● 電柱の移設補償**  
**Q** 妻籠町並み交流センターの駐車場整備における電柱移設の補償は。

**A** 妻籠町並み交流センター駐車場の整備工事にあたり、NTTと広域CATVが共架している中部電力の電柱2本が移設対象となります。補償料100万円は、NTTや広域を

合わせての金額です。

道路に建っている電柱は無償の場合が多いですが、今回は町との協定の関係で有償となっております。

**● 小中学校のコロナ対策**

**Q** 小中学校における新型コロナウイルス感染症対策の内容は。

**A** 学校のコロナ対策を進めるための国補学校保健特別対策事業で、補助率は2分の1です。小中学校に45万円ずつ交付され、アルコールなどの消耗品、電子黒板用のソフト購入などの使用料、パーテーションなどの備品購入費にそれぞれ30万円を充てます。

**● 要望 電子黒板用の汎用ソフトなどは当初から購入出来なかったのか。二度手間にならないよう要望する。**



学校で使用されている電子黒板

**Q** 学校でのマスク着用については、最近文科省から通学や体育の時には外すよう指導されているが。

**A** 文科省からの通達を受けて、学校の状況を見ながら対応していきたいと思います。

**● 中学生の通学**

**Q** 渡島地区国道上の中学生は国道沿いを歩いて通学しているが、途中で雨宿りする所もなく危険でもある。生徒も少なくなっている中で、バス通学にはならないか。

**A** 渡島地区の生徒については、基本的に徒歩での通学になっていきます。

**● 遊具の設置**

**Q** 大規模遊具の設置場所と規模は決まっているか。

**A** 場所については渡島総合グラウンド横の旧テニスコート跡地を考えています。詳細については現在検討中です。

**● 歴史の道などの看板設置**

**Q** 与川の歴史の道など、災害により通行止めなどの状況になっていることはやむを得ないことだが、また町を訪れてもらうために観光客目線での工夫が必要ではないのか。

**A** 歴史の道などは観光面と生活道としての役割もあります。歩いて見ると地元の人は分かりませんが、他所から来れば不安ということも気付くため、観光協会などと一緒に点検することも検討します。

議会の主な動き

(3月定例会閉会以降を記載)

3月	23日	南木曾町消防団幹部引継会
	24日	蘭保育園・田立保育園卒園式・閉園式
	25日	読書保育園卒園式・閉園式
	30日	南木曾町リニア中央新幹線対策協議会
4月	1日	なぎそこども園開園式
		議会報編集特別委員会
	3日	南木曾町消防団入退団式
	5日	なぎそこども園入園式
	9日	妻籠町並み交流センター開館式
	25日	中部地方整備局長との意見交換会
		議会報編集特別委員会
		木曾郡町村議会議長・事務局長合同会議
		議会運営委員会
5月	28日	
	27日	緑誠蘭高等学校開校記念式典
	7日	南木曾町議会第3回臨時会、全員協議会、議員懇談会、リニア新幹線対策特別委員会、議会報編集委員会
	11日	
	13日	南木曾商工会通常総会
	14日	中津川市制70周年記念式典
	25日	木曾広域連合議会第2回定例会
	27日	南木曾町空家対策協議会
	28日	南木曾小学校運動会
6月	30日	全国町村議会議長・副議長研修会
	1日	議会運営委員会
	3日	木曾地域交通網対策協議会総会
		木曾郡消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会
	8日	南木曾町議会6月定例会(14日)



## 6月定例会

# 8人の議員が一般質問



### ◆赤坂 孝 議員

- ・令和3年豪雨災害の処理状況

### ◆近藤 隆 議員

- ・気候変動対策としてコンポストなどの購入補助を

### ◆高橋 進 議員

- ・100周年を迎える桃介橋記念イベントの計画は

### ◆田中 晃 議員

- ・三留野宿本陣・脇本陣跡の整備活用を
- ・町所有の民俗資料や建物の活用を

### ◆松原 崇文 議員

- ・火災時の防災無線放送
- ・宅地造成事業の今後の計画は

### ◆坂本 満 議員

- ・文化施設の整備へ住民アンケートを
- ・リニア計画への対応

### ◆早川 親利 議員

- ・これからの農業振興

### ◆伊藤 寿子 議員

- ・持続可能な観光地を目指して今出来る事は

※一般質問の質疑内容は各議員の編集によります。

## 令和3年豪雨災害の処理状況

### ●蘭川の左岸災害復旧工事（広瀬地区）

**Q** 現状や町の考えは。

**A** 昨年8月の豪雨により、蘭川の寺地籍・奥志水地籍などで山腹の崩落が発生したものです。現地を確認したところ

居住地の対岸であり、人家などへの被害や蘭川の閉塞は確認されませんでした。早急な対応が必要と考えています。現状の監視を続けながら、県へ報告・要望を行っているところです。

**Q** 県の考えを伺う。

**A** 直ちに人家などへの影響が出るものではないことから、県としても現状の監視を続けながら今後の対応を検討していますが、早期着手は難しい状況です。

**Q** 寺組の崖崩れ現場はリニア掘削工事現場と近く、影響の心配がある。町の考えは。

**A** JR東海に対し、現場の監視や掘削工事によ

る影響が出た場合の対処を要望していきたいと考えています。

**要望** 釣り人が落石に遭うケースも想定される。注意喚起をお願いしたい。

**●未着手・未終了の町単災害の状況**

**Q** 広瀬地区の町単災害における未着手・未終了事業について状況を伺う。

**A** 建設関係では、小規模なものは早急に対応を行い、37か所中33か所ですでに復旧・応急復旧済みとなっております。

国の補助金で行う工事については、町道富貴畑線が6月2日に通行可能となり、町道中山道が6月中旬に完了する予定です。また、国関連の災害工事2か所について、工期の延伸を行いました。

**Q** 土木工事について工期の延伸が多くみられるが、国の方針では施工時期平準化の促進が公共発注者に要請されている。柔軟な工期設定にするなどの努力は行っているか。

**A** 県の工種・請負対象



赤坂 孝 議員

金額による標準工期日数を使用しています。

**要望** 土木工事で工期延伸が多い根本的な原因について調査をお願いする。

**Q** 町道富貴畑線工事の発注が遅れている理由は。

**A** 関係機関との調整や、巨石の発生による工種変更などが主な原因です。

**要望** 工事に関連して、道路の拡幅を要望する。

**Q** 住民への説明は。

**A** 工事が発注される際など、必要に応じて説明会を開催します。

**Q** 今後の国・県への要望は。

**A** 災害復旧工事などは町単独での施工は難しい箇所があるため、各担当と連携を図りながら進めていきます。特に早期着手が必要な箇所については直接要望していきます。

## 気候変動対策として コンポストなどの購入補助を

●南木曾町の気候変動非常事態宣言を

Q 近年、気候変動によって夏の猛暑日が増えたり豪雨災害が頻発したりして多くの人が被害を受けている。町はこの気候変動に対してどのように考えているか。

A 対策としては国際的なレベルから一人ひとりの心がけといったもので、みんなで力を合わせて進めていかなくてはならないと考えています。

Q 南木曾町は観光が重要な資源の一つであり、環境を大切にしていくな必要があるが、そのような観点から町独自の気候変動非常事態宣言を行うことは考えていないか。

A 木曾広域連合の宣言時に町も加わっていることから、取り組みや対策といった形で、今後議会などの意見を伺いながら具体的に検討していきます。

●コンポストの斡旋を南木曾町の家庭から

Q 南木曾町の家庭から排出される燃えるごみの総排出量と種別ごとの排出量は。

A 左表のとおりです。

Q 燃えるごみの約3割を生ごみが占めているが、減量やごみ処理経費の削減

【燃えるごみ袋】に入っているごみの量 (令和2年度実績)

ごみの種別	生ごみ	紙類	プラ	その他	計
ごみ量 (t)	170	181	123	111	585
構成率 (%)	29	31	21	19	100



近藤 隆 議員

減を目的にコンポストなどの購入補助は出来ないか。

A 各家庭における処理としてコンポストや生ごみ処理機などの活用も含め検討します。

意見 生ごみの量を減らすことは「持続可能な開発目標 (SDGs)」の一つでもあり、それが気候変動対策となる。

また、生ごみをそのまま畑に捨てれば野生動物のエサになり、結果的に野生動物の数が増えて農作物が荒らされてしまう。町はサルやイノシシなどの有害鳥獣対策に力を入れている。そのような観点からも早急に生ごみ処理について考えていただきたい。

## 100周年を迎える桃介橋 記念イベントの計画は

Q 今年、重要文化財でもある桃介橋は架橋100年を迎える。町の代表的な観光スポットであり、町道として通学路にも利用されている。

A 竣工された当時はちょうどちん行列でお祝いをしたと聞いているが、100年を迎える今年はどのようなイベントを計画しているか伺う。

A 桃介橋は1922年に架橋され、今年で100年になります。平成5年には、老朽化により廃橋寸前だったところを、地域の人の熱意もあって復元されました。町としても、桃介橋は地域住民に愛されている町のシンボルの存在であると認識しています。

Q 今年も残すところ半年を切った。予算計上も行事予定もなく、町民は大変心配しているが。

A 100年という節目の年であることから歴史を振り返るようなイベントを計画していますが、現時点ではまだ具体的な形になっていません。内容については、河川公園



高橋 進 議員

とこのように、コロナ禍においても社会経済活動の節目の年にどうお祝いしPRしていくか、関係者と早急に詰めていく必要があると思います。

来々、桃介橋と同時期に完成した読書発電所が同じく100年を迎えることから、関西電力が令和6年度に祝賀行事を計画しているとのこと。現在、それに合わせて桃介橋のイベントを開催するか検討しているところです。

要望 お祝いは、記念日より早い時期に行うのが常である。また、桃介橋は町のものであるため、関西電力に合わせるのではなく町独自で開催すべきだと思ふ。楽しみなイベントであるため、早めに周知をお願いしたい。

コロナ禍で客足が遠のいていた桃介橋や福沢桃介記念館にも観光客が徐々に戻り始め、今年7月には名古屋市中で桃介と川上貞奴をテーマとしたコンサートが開催される



今年架橋100周年を迎える桃介橋

### 三留野宿本陣・協本陣跡の整備活用を



三留野宿本陣跡

**Q** 三留野宿本陣跡や協本陣跡は、記念碑が傾くなど管理が不十分である。整備の計画はあるか。

**A** 現在、具体的な整備計画はありませんが、危険な場所や損傷したものについては早急に対応したいと思います。

**Q** 中山道木曾路は日本遺産で、三留野宿本陣は歴史的価値も高い。町は本陣跡を観光名所として整備する考えはあるか。

**A** 中山道などの日本遺産に対しては、文化遺産としての保存管理と観光をセットとして考えることが戦略の基本です。管理者である教育委員会だけでなく、行政や観光関係者、そして地域の関係者と協議しながら、今後の整備方法などを考えていきたいと思っています。

本陣跡の建物は、新型コロナウイルス感染症の蔓延など、今の役場庁舎だけでは対応出来ない事態が発生した際の分庁舎として使用することになっており、現状では本陣跡地としての活用は難しいと考えています。地域の行事など、一時的利用については検討したいと思っています。



田中 晃 議員

### 町所有の民俗資料や建物の活用を

**Q** 町には多くの文化財や民俗資料が残されており、多くが旧田立小の校舎に収納されている。現在この場所は「博物館分館」の扱いだが、一般公開する考えはないか。

**A** 現在見学希望は受け入れていますが、常時の公開は考えていません。

**Q** 旧妻籠中は文化財的価値があると評価されていますが、諸課題があり現在結論が出ていません。その他の建物については、観光資源としての活用も含め、観光協会や地元と協議しながら検討していきたいと考えています。

**Q** 旧田立小・旧妻籠中・三留野本陣跡などに町所有の建物を観光などに活用出来ないか。

**A** せつかくの歴史資産である。何らかの方法で観光客などに見てもらえるよう考えて欲しい。

**Q** 5月28日に発生した田立地区建物火災の防災無線放送で、場所の特定が分かりづらいと感じた。どのようなルールで放送されているのか。

### 火災時の防災無線放送

**A** 木曾広域消防の防災無線放送においては、指令システムに入力されている指令目標から、署員が近い場所を選択して放送することになっています。また、建物火災で近隣住民の避難が必要な場合には、町で追加の放送を行います。なお、今回の火災では追加の放送は行っていません。

### 宅地造成事業の今後の計画は

**A** 分かりやすい無線放送にするために町内の指令目標を見直し、地域振興協議会や消防団へ確認しながら指令システムに反映させていきたいと思っています。



松原 崇文 議員

**Q** 今後のように進めていくのか。

**A** 今回のアンケートに答えられた方には、個々に話を聞きながら進めていくことが大切です。また、答えられなかった方や町外の方にも宅地購入の希望者がいると思います。今後適地を探しながら、購入者のニーズに合った宅地造成を計画的に進めていきたいと思っています。

### 意見 ウィズコロナの中、これからの観光は新たな視点で慣習にとらわれないこと

ことなく進める必要があり、滞在型・体験型の観光地域づくり「地域づくり経営」が求められている。観光業を中心として、若者が生き生きと活躍できる町づくりを推進していくよう要望する。

**Q** 木曾広域消防の指令目標はどのように決められているのか。

**A** 町で報告したものを指令システムに入力して利用しています。

**Q** 指令目標の見直しをお願いしたい。また、指令目標のリストを住民に教えていただきたい。

**A** 町への定住を進めるために、造成を検討している神戸地区や元組地区における町民の購入ニーズを調査しました。調査の結果、情報提供の希望



天白地区の宅地造成事業実施箇所

### 文化施設の整備へ 住民アンケートを

**Q** 南木曾会館や公民館分館などの町文化施設は、会議・研修会・文化活動などが開催しやすい「気の利いた施設」になっているか伺う。

**A** 南木曾会館や分館などの施設は広く活用され、施設管理は随時必要な補修をするなど対応しています。視聴覚機材は会館に備え、必要に応じて貸与しています。

**Q** 一定の設備はあるというが、文化的な体験を町民に提供出来、外からの人にも使いやすい整備を進めてもらいたい。そのためにも住民への施設利用や整備に関するアンケートなどを検討していただく考えはないか。

**A** 町民の施設に対する意向の把握については、部内や庁内で検討していきたいと思えます。

### リニア計画への対応

**Q** 工事事故への対応

JR東海による一連

のトンネル工事事故に対して岐阜県知事が「環境保全計画」の変更などを意見したところ、山口工区などの計画について変更がなされた。一方で、町内の広瀬工区ではそのような対応は行われておらず、県の姿勢によって工事の見直しがまちまち

**A** 町として不安な点を指摘しつつ、安全第一の施工管理をお願いしていくこととなります。

**Q** 河川水や井戸への対策は

**A** 水環境への具体的な協議は進んでいません。減水時の対策や損失補償の考え方など早急に検討するように再度申し入れたところですが。

**Q** リニアトンネルが横断する河川の協議は。

**A** 平成27年10月にJR東海から町管理の河川の計画協議があり、11月に



坂本 満 議員

回答しました。本線と斜坑に交差する12河川が対象となっています。

交差箇所の施設の構造などについては別途協議し、河川水量や水質環境に影響を及ぼさないよう万全の措置を講じることなどを回答しています。

**Q** 「予備的措置」の完了とは

どうで示された「予備的措置案」というものは最終案なのか。

**A** 最終案ではありません。計画は配付資料の通り進めていきますが、町としても代替水源から妻籠配水池への通水が可能となるのが予備的措置に当たるものと考えています。今後ともJRに対して計画案の見直しと必要な事業の実施について強く伝えていきたいと思

います。

### これからの 農業振興

**Q** 食糧自給率の向上

**A** 今、日本の食糧自給率は37%であり、残りの63%は国外に依存している。戦争や異常気象が起きた場合、食糧の生産が大きく左右され、供給停止や物価の高騰に繋がるおそれがある。国は令和12年までに食糧自給率を45%にする目標を立てているが、具体的な考えは示されていない。

**Q** 南木曾町の食糧自給率はどのくらいか。

**A** 町の自給率は算定されていませんが、長野県の自給率は53%となっています。

**Q** 自給率低下の原因は何が考えられるか。

**A** 食生活の変化により主食であるコメの需要が減って肉やパンの需要が増えたことや、高齢化による農業生産者の減少、耕作放棄地の増加など、農業そのものの衰退も原因と考えられます。

**Q** 町として自給率を上

げる対策はあるか。  
**A** 若者の就農支援や遊休農地の利活用、鳥獣害対策などが必要です。

**Q** 自給率を上げるには、コメの他に野菜などの生産を増やす必要がある。町には農業用パイプハウスの設置事業補助金制度があり、上限を30万円として設置費の2分の1を補助しているが、上限を50万円に増額出来ないか。

**A** この補助事業は、高収益の野菜などの生産振興や直売場への出荷を促進し、農業の担い手を育成する事業です。最近の実績では、令和3年度に2件、令和2年度に1件の申請がありました。上限の見直しについては今後検討したいと思

います。

**Q** 公図の修正

**A** かつて町は国の補助金を活用し、町内各地で大規模な圃場整備事業を行った。その際、面積の要件を満たさなかった土地などは町単事業として整備を行ったが、公図の修正までは出来なかったため、現在も昔のままの公図になっている。現在

このような土地が100筆ほどあるが、公図の修正には費用と時間がかかるため、町で修正することは出来ないか。



早川 親利 議員

現在、国土調査が完了している箇所の公図修正については、土地所有者で個々に修正するようお願いしているところですが、今後、制度上の課題なども含めて研究したいと思

います。

**Q** 耕作条件改善事業補助金の進捗状況

**A** 昨年からの計画を進めている、南木曾町耕作条件改善事業補助金の進捗状況は。

**A** この補助制度は、水田の改修費用に対して1アール当たり4分の3で上限56万円補助します。現在、中山間集落協定地域への説明を予定しており、その他の農家にも説明会などによる周知を行っています。

持続可能な観光  
地を目指して今  
出来る事は

**Q** 南木曾町観光協会の設立から早3年が経過したが、コロナ禍の影響もあり思うように運営が出来ていない。今後のアフターコロナを見据えた取り組みや、観光立町としての気構えなど何か具体的な考えはあるか。

**A** 観光協会は発足と同時にコロナに見舞われ、観光業者にとっても多大な打撃を受けることとなりましたが、今年の6月からは外国人観光客の受け入れが再開され、最近観光庁が行った実証事業の全国モデルツアーの中に中山道妻籠宿が組み込まれるなど、前向きな動きも見られています。

観光協会では、昨年アフターコロナを見据えた取り組みとして行った、中山道ハイキングと体験メニューを組み合わせたツアーが好評であったことから、今後も体験メニューをいくつか企画し

て販売していくと聞いています。町としても引き続き支援を行っていききたいと思えます。

**意見** 観光客数は増加傾向にあり、中山道を歩く人も増えている。外国人観光客の受け入れ再開に合わせ、素早い取り組みが必要だ。

**Q** 先日、役場職員が馬籠から妻籠までハイキングを行ったようだが、どのような企画だったのか。

**A** コロナ禍で不足している職員同士のコミュニケーションを図ることや、観光地としての現状を見聞きすることを目的として企画しました。

**Q** 大変良い企画だと思ふ。歩いてみて何か気付いたことはあったか。

**A** 昨年の豪雨災害による爪痕が多く残っており、復旧工事の重要性や、それが観光振興にも繋がることを実感しました。

**要望** そうした一人一人の気付きが大切と思う。ぜひ町内の他地区にも行って、妻籠宿だけではなく観光地として磨き上げていって欲しい。

**Q** 妻籠宿は町並みが素晴らしい反面、飲食店が少ないことや後継者の不足、売らない・貸さない・壊さないの三原則の保持、外部からの受け入れ体制の確保など課題も多い。以前、町・観光協会・妻籠を愛する会で話し合いが行われたようだが、その後はどうなったか。

**A** 妻籠宿連絡調整会議を年2回ほど開催しています。また、現在は観光協会と妻籠を愛する会で観光に特化した話し合いが行われており、町としても関わっていききたいと思えます。



伊藤 寿子 議員

**意見** 町にはもっと深く関わって欲しい。基本的な問題が解決しない限り、これからの観光地として先へは進めないように思う。各関係機関と協議しながら、持続可能な観光地を目指して努力を続けて欲しい。

報告 木曾広域連合議会

5月25日に開催された第2回定例会の主な内容は次のとおり。

行政報告概要

- ・新型コロナ対策本部会議を今までに29回開催
- ・森林経営管理業務は、15団地644haの経営管理権を取得
- ・第8期介護保険事業は、見込みどおりの給付状況
- ・衣類リサイクルや特定プラスチック類の回収計画
- ・ケーブルテレビ光化事業は令和4年3月までに完了
- ・木曾文化公園ホールの改修工事は天井板の張付けが開始

承認

- ・令和3年度一般会計補正予算（第5号）
- ・令和3年度介護保険特別会計補正予算（第5号）

報告

- ・令和3年度一般会計繰越明許費繰越計算書

議案

○条例等関係

- ・人事院勧告に伴う関係条例の整備に関する条例
- ・副管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

- ・介護保険条例の一部を改正する条例
- ・木曾広域計画の変更につき議会の議決を求めることについて

○予算関係

- ・令和4年度一般会計補正予算（第1号）  
570万2千円を増額、総額37億8,530万8千円  
人件費の補正、公共サインの移転関係経費など
- ・令和4年度介護保険特別会計補正予算（第1号）  
452万7千円を減額、総額40億4,789万7千円  
人件費の補正、保険料賦課誤りによる還付金の増
- ・下水道事業会計補正予算（第1号）  
収支補正額30万円を減額、総額1億1,642万7千円  
人件費の補正

全員協議会

- ・第6次木曾広域連合広域計画策定について
- ・木曾地域の治水対策について

## 委員会報告 リニア新幹線対策特別委員会

### 大鹿村・豊丘村のリニア発生土置き場視察 (6/12)

6月12日、リニア中央新幹線事業及び発生土置き場に対する理解を深めることや、協議会での議論及び各委員の判断に資することを目的に、発生土置き場の視察を行いました。JR東海の職員が現地で説明し質問に答えていただきました。

視察したのは、大鹿村旧荒川荘発生土置き場と総合グラウンド、豊丘村の戸中発生土置き場と本山発生土置き場の4か所です。(表紙P.16の写真を参照)

### 委員会の開催 (6/14)

6月14日、リニア新幹線対策特別委員会を役場2階大会議室で開催しました。

会議では、6月27日の対策協議会に向けた説明、水道水源予備的措置に係る南木曾町の令和4年度事業に係る概要説明、6月12日の現地視察結果について協議しました。

#### ●水道水源予備的措置に係る令和4年度事業について (参考P.29 全員協議会審議)

蘭と妻籠の簡易水道をつなぐため、国道256号に水道管を約2.7km布設する工事を行う。そのうち年内に二つの工区(約850m)を実施したいとの説明があり、次のような意見、質問がありました。(下図参照)

##### (意見・質問)

- ・発注方法や工事費増額の場合の負担は。
- ・工事中の交通規制のやり方は。
- ・ダクタイル管(铸铁管)使用による費用や工法上の問題は。
- ・町内指定業者が施工する場合の技術的な問題は。

#### ●その他

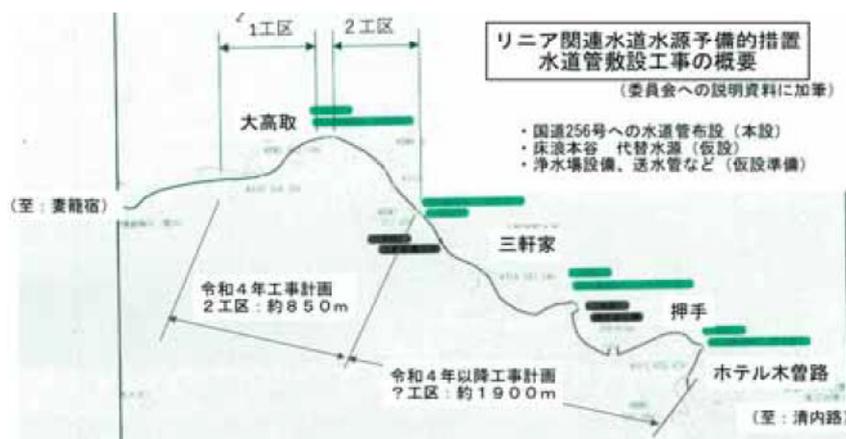
- ・山口工区で基準以上のフッ素が観測された件の情報について。
- ・温泉が出た場合など、発生物の有効活用を考える必要がある。
- ・盛土の厚さを盛土の高さにしている場合がある。注意すべきだ。

#### ●大鹿村・豊丘村のリニア発生土置き場、現地視察結果について

##### (感想・意見など)

- ・あれだけの対策をするなら、町においても埋立てができるのではないかと。渡島総合グラウンドや、中学校校庭のかさ上げも考えてはどうか。
- ・大鹿村総合グラウンドの盛土整備、建屋の費用は村負担だが、国からの補助金が約1億6千万円あるとのこと。
- ・どこの場所も恒久に行うはずの維持管理方法が明確でなく問題がある。
- ・JR東海が盛土の恒久管理を行うことを条件として求めたい。
- ・盛土の現場下流側の民家のことや豪雨時の盛土対策などへの回答は曖昧であった。
- ・盛土構造の完成物が県で審議した環境保全計画書の構造と変わっている。後から変更したものについて、検証が出来ない仕組みの中で工事が行われているのではないかと。
- ・豊丘村の本山置場は山の手前の谷を埋めており、自然の理にかなっていない。
- ・出来た構造物に触ってみた時、耐久性はどうかと感じた。(文責：赤坂 孝委員長)

#### 予備的措置の概要 (説明資料より)



【説明概要】  
 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について、6月補正でコロナ禍に伴う衛生環境の整備や原油価格・物価高騰対策など14事業を追加し、当初予算で計上した2事業と合わせて計16事業とすることについて説明がありました。  
 総事業費は1億1043万4千円で、うち交付対象経費は9035万円です。  
 残額約4600万円については、今後サテライトオフィス整備事業などへの活用を検討しています。

**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業**  
 (5月11日、6月8日)

議会と町の意見交換

**全員協議会**

(5月11日、6月8日、14日)

全員協議会とは…  
 議会独自の運営協議、議員間の意見調整、本会議審議中における協議、執行機関と議会側の意見調整などを行うための場で、議会の開会中及び閉会中にかかわらず議長招集により開催し、公開を原則とします。

●…質問  
 ○…意見・要望など  
 全員協議会の質疑内

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業への質疑

### 【妻籠宿公衆トイレ改修工事業】

○妻籠宿の公衆トイレがすべて洋式便器に改修される計画である。公衆性を考えれば、南木曽駅公衆トイレの和式便器も洋式に変えるべきである。

### 【福祉施設・車両等 原油価格高騰対策事業】

○燃料高騰対策として、冬季における福祉灯油などの支援策を検討して欲しい。  
 ○木曽病院への通院バスが有料となる。通院者の負担軽減や運行事業者への燃料支援などを求める。

### 【地域応援商品券、地域応援交通食事券給付事業】

○「夏の地域応援商品券」は、「観光事業者支援商品券」と期間が重なり、「観光事業者支援商品券」の効果が薄れてしまう。有効期間の設定について再度検討して欲しい。  
 ○冬に配布予定の「地域応援商品券」の有効期間が短い。期限の延長を検討して欲しい。

### 【脱炭素 エコバッグ配布事業】

○エコバッグを全世帯に2枚配布するとのことだが、保冷式で町のオリジナルデザインが入るため高価になっている。有効活用と、取り違いが起こらないような工夫を望む。

### 【インフルエンザ予防接種緊急促進事業】

●町の65歳以上インフルエンザ予防接種補助事業も交付金で実施出来ないか。

### 【学校給食費負担軽減事業】

●給食費の補助金は、更に物価上昇した場合に増額出来るのか。

### 【サテライトオフィス等整備事業】

○サテライトオフィス建設計画が5月の説明時には記載されていたが、現在検討中とのことである。国の基準を満たし、町の活性化につながるよう実現を強く要望する。

### 【その他】

●燃料高騰の状況が続くが、こども園や小中学校における冬場の燃料費は十分に対応出来るのか。  
 ○土曜日・日曜日に町で実施しているコロナワクチン接種について、従事者への援助が出来ないか検討して欲しい。  
 ○社会福祉資格者への支援について、運営上苦慮していると聞く。国からの補助だけでなく、さらなる補助を検討して欲しい。  
 ○新型コロナウイルス感染症の感染者で後遺症に苦しむ人が多いと聞く。支援出来ないか。また、ウィズコロナの時代となり、感染への予防対策や不安解消のため、PCR検査に対する支援が出来ないか検討して欲しい。  
 ○社会体育館の更衣室やシャワーの整備は出来ないか。また、玄関に換気用網戸などの設置を検討して欲しい。

## 不妊治療の保険適用（6月8日）

### 【説明概要】

令和4年4月から不妊治療が健康保険の適用対象となったことについて、また、それに伴って実施される県や町による新たな不妊治療助成事業の概要につ

いて説明がありました。国の現行制度では治療費の5割が自己負担となっていました。が、今回の保険適用により自己負担が3割になります。

### 制度の概要：不妊治療の保険適用について

#### <国>

国審議会で有効性・安全性が確認された治療について、治療費の7割が保険適用されます。また、保険適用外と審議された治療のうち「先進医療」として認められたものについては、保険適用治療と併用することが可能となります。

#### <県>

新たに、予防支援として早期治療を促すための「妊活検診（不妊検査）」への助成（上限2万5千円）や、治療支援として先進医療費用助成（自己負担の2分の1、上限5万円）を実施します。

#### <町>

保険診療の3割負担分と保険適用外診療の自己負担分について、対象経費の9割を助成します（上限50万円）。

## 町道十二兼線・踏切改良工事（5月11日）

### 【説明概要】

町道十二兼線及び踏切改良工事の工程などについて説明がありました。踏切改良工事は8月末、町道改良工事は11

月末までを予定しており、一般車両は町道改良工事の完了まで通行止めとなります。町としては、夕方から翌日の朝にかけての時間帯における踏切の

通行や連休中の対応について、JRへ施工者として責任を持って行うよう要望していく方針です。

### 町道十二兼線・踏切改良工事への質疑

#### 【工事全体】

- 町のホームページに今回の工事などについての情報は示してあるか。
- 工期の短縮は出来ないか。
- 踏切工事と町道改良工事は一体にして考え、安全対策は一体に行っているのではないか。
- 迂回路の案内が不親切だ。南木曾町は観光の町でもあり、観光への対策もしっかり行う必要がある。
- 線路の向こう側は地主が多いため、通勤や農作業の通行が不便だ。踏切改良後は地元の車を通してほしい。
- 工事車両は柿其入口の信号から入ってくるため、地元とトラブルが起きないようにお願いしたい。
- 熊の沢沿いの通路については、今後のことを検討していただきたい。
- 土砂を運び込むための改良工事だが、今回の踏切と町道の改良で残土運搬や右岸道路工事の車両の出入りが容易に出来る道になるのかという懸念がある。

#### 【踏切工事関係】

- 踏切工事について5月の連休中には苦情を受けた町が対応したが、JR東海が行うことではないのか。
- 国道19号沿いには踏切工事による通行止めの看板がないなど、工事に対する安全対策が不十分だ。
- 踏切の警報器が止めてあるが、踏切部分は人が通れる状況になっていて大変危険である。

#### 【町道改良工事関係】

- 町道改良箇所のために近接農地で盛土用の土砂採取をする。農地復旧はどうするのか。
- 盛土用の3300㎡の土砂が、盛土に適さない場合にはどうするのか。
- 町道改良で拡幅する原地形は急斜面であるが、通常の盛土で大丈夫か。

## 国道256号水道管布設工事及び リニア工事に係る簡易水道予備的措置への質疑

### 【国道256号水道管布設工事】

- 工事は町が施工するということが良いか。
- 工期が令和5年1月末となっているが、間に合うのか。
- この工事計画では、トンネルの掘削はいつ始まるのか。

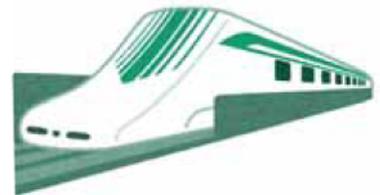
### 【予備的措置の計画】

- 予備的措置の最終案とのことだが、実際にトンネル掘削中の水枯れの判断はどこでするのか。また、仮設の部分の本設となるのはいつか。
- 予備的措置水源からの取水量はどのくらいになるか。
- とりあえず大山高区水源・向ヶ原水源・妻籠水源を繋げるということか。大山高区が枯れる心配は無いのか。
- 取水地からの送水管の経路は。夏焼方面は水が不足しているが、そちらを回すことは出来ないか。
- 向ヶ原水源との送水管の接続方法は。
- 水枯れが起こる前に工事は完了すると解釈している。トンネルの掘削が男滝・女滝周辺まで到達する頃には確実に水が通っていなければ妻籠は困る。
- 万が一に備えてあらかじめ水を通すとのことだが、仮設の準備工を繋げるのに半年かかると聞いた。もう少し具体的な説明が必要だ。
- トンネル掘削が始まれば少なからず水源への影響が出ると思われる。図面だけでなく、トンネル工事に併せたスケジュール表や詳細な説明などもJR東海に要望してもらいたい。

【説明概要】  
リニア工事に係る簡易水道予備的措置による国道256号水道管

布設工事について、予備的措置の計画や工事内容などについて説明がありました。

国道256号水道管布設工事及び  
リニア工事に係る簡易水道予備的措置  
(5月11日)



## 国道19号二三石油前の町有地危険木伐採整備への質疑

- 費用に森林環境贈与税を充てることはできないか。
- 事業の実施には1,200万円近くの費用がかかる。中部電力やNTTの施設もあるが、費用負担をお願いすべきではないか。
- 町負担の事業とのことだが、事業地が民地である場合の費用負担はどうなるのか。国道の安全確保のための事業であれば、国に費用負担をお願いすべきではないか。
- 計画のある場所には巨石も確認されている。危険防止の意味でも、国交省に相談し計画を進めるべきでは。慎重な対応を望みたい。
- 以前崩落事故があった場所であり、木を切ることによって事故につながらないか心配である。伐採整備後の維持管理が大変重要な課題となるので、町が責任を持って行って欲しい。
- 伐採事業によって出た木材の中に「焚き物」として利用できる物があれば住民に提供するなど考えて欲しい。

【説明概要】  
中島石油店から神戸信号交差点までの国道19号沿線の町有地について、倒木による山地崩壊の予防や、国道や

ライフラインを守る防災対策として、町で危険木の伐採を行うことについて説明がありました。

国道19号二三石油前の町有地危険木伐採  
整備について(6月14日)

国道19号沿いの町有地危険木伐採箇所  
(左：国道19号から、右：南木曾大橋から)



### 地域で何が出来るか

この頃、痛切に感じるのは、コロナ禍で地域の行事が中止や縮小になり、それが当たり前の生活になっただけだ。地域で行うお祭りや伝統行事は子ども達の楽しみであり、そこで一献酌み交わすのは大事な交流の場である。それが奪われ、出来なくなることが残念に感じる。

私の住んでいる元組地区は約100世帯あり、若い世帯は町営住宅や近年家を建てた世帯を合わせて30世帯と多い。地区役員会では、何か交流する場が出来ないかとの春、中学生以下の子ども達と地域の方々大勢で遊休農地に「さつまいも」と「里芋」を楽しく植え、秋には、焼き芋や里芋鍋を計画し、少しでも地域交流が出来ればと考えている。収穫まで

聞いて

### 私の思い



田立地域振興協議会会長  
高橋 徳さん

### こんな時こそ地域交流を

に、イノシシなど有害鳥獣の被害が無いことを願う。

有害鳥獣と言えば、春先に田立では、はぐれ猿が所々に現れ、玄関の戸を開けて住居に侵入し、仏壇のお供えや台所から食べ物も獲られる被害が続発した。都会なら大問題だが、田舎は新聞の記事にもならない。それでも元組に設置した檻に猿が入り、地域の方からこれで安心して生活出来ると言われ猟友会員も地域から頼りにされていることを感じたが、他の地区に設置した檻には入らず、猿との知恵比べが今後も続きそうだ。

しかし、愚痴ばかりこぼしてはいけなく、こんな時こそ地域でまとまり、少しでも楽しく喜ぶせる活動を皆さんと考えていきたいと思う。

### 議会の傍聴にお越しく下さい

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)開催されます。詳しい日程などについては、町ホームページ、音声告知端末放送、ケーブルテレビなどでお知らせしています。

※6月の議会は、2日間で5人の傍聴がありました。



### 【お詫びと訂正】

### 「なぎそ議会だより」2022年5月号の掲載内容について

「なぎそ議会だより」2022年5月号につきまして、内容の一部に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

議会報編集特別委員会

#### ●「なぎそ議会だより」2022年5月号

P.18 「議会の眼」説明文中

誤 体育館内部



正 多目的ホール棟内部

### 編集後記

「気候変動」が気になる梅雨の時期という表現が当たり前のようになっていくことに、改めて事態の深刻さと、何とかしなくてはという思いが募ります。

7月9日の梨子沢災害から8年目になります。今では10m余の巨石が押し出してきたことすら忘れかけ、現地に行っても見当がつかせせん。それでも梨子沢のあのときの景色が、町のあちこちにある巨石を見たときに二重写しに拡がります。

生活環境を整えていくための議会の取り組みは、住民の皆さんにはどのよう映っているでしょうか。

議会だよりへの、さまざまなお見をお待ちしています。

議会報編集委員

- 坂本 満(記)
- 伊藤 寿子
- 田中 晃
- 早川 親利